

ともし

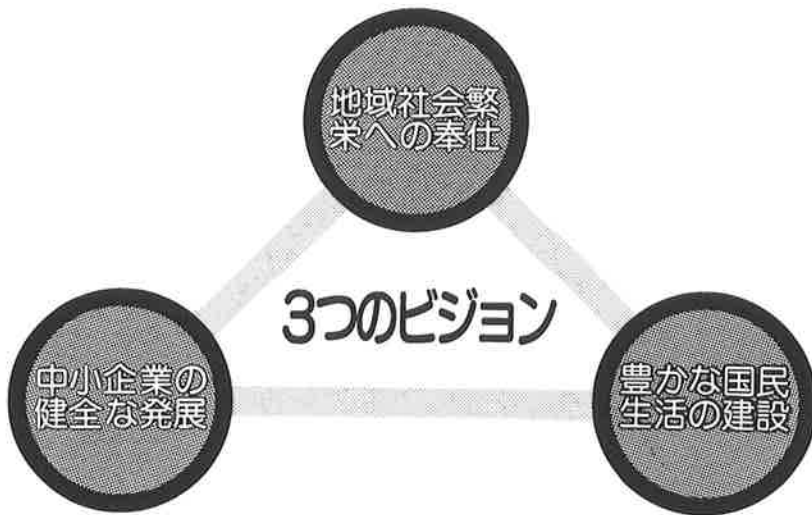
No. 48



■函館商工会議所報■

1984 11月号

豊かさを
地域に築く
商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。



本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241(代)

本店	函館市豊川町15番20号	TEL 22-1247(代)	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL 42-3820(代)
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL 23-6221(代)	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL 51-1711(代)
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL 41-6236(代)	上磯支店	上磯郡上磯町字飯生町30番	TEL 73-2151(代)
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL 52-0511(代)	尻岸内支店	亀田郡尻岸内町字中浜115番の4	TEL 84-2111(代)
弁天町支店	函館市弁天町15番6号	TEL 26-3646(代)	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL 65-2501(代)
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL 51-5238(代)	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL 木古内 2-3121(代)
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL 57-1492(代)	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL 知内 5-5611(代)
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL 53-5521(代)			

●とせえ・48号目次●

巻頭言	1
会議所だより	2
調査レポート	6
アドバイスコナー	12
寄稿文	14
ご存じですか	16
事務局日誌・雑感	19
ご紹介	20
ティータム	22
告知板	24



●巻頭言●

「人生八十年のゆとりと安定のために」と副題のついた今年度の国民生活白書が発表されました。

人間の生、病、老、死という現象についてはお釈迦様の時代から寿命として考えられて来ましたが、日本は治療医学、予防医学の発達に素晴らしい頭脳をもっており、ついに長寿世界一の男七十四・二歳、女七十九・七八歳の記録を打ち立てました。人生八十年といわれるゆえんです。

白書のポイントは、一、家計については景気は回復に向かったが、その効果は家計部門まで十分及ばなかった。五十八年度の家計消費は伸び悩んだ。二、女性の職場進出は男性の就業増加を抑え、失業率を押し上げる可能性がある。労働時間短縮などの構造対策が必要である。三、金融自由化と金融新商品の登場は、家計の金利選好を高め、利便を増している。四、「人生八十年時代」を迎え、世代別の意識や生活の違いが改めて問われている。中年は満足感や幸福感が最も少ない。五、四十歳後半から、男性の体力の衰えが目立ち始める。精神障害も中年で増え、自殺率も中年男性で大きく上昇する。六、教育費と住宅ローンに追われて、中年期の経済的な余裕度は著しく低下している。最近持ち家の魅力が薄れている。七、働き盛りの中年は、余暇時間が短かい。中味も休息が中心である。生活意識の面でも中年はゆとりが少ない。八、モデル世帯の収支計算は五十歳前後で赤字となる。生涯収支でも、わずかに二百五十万円の黒字しか残らない。中年の負担軽減策が必要だ。

要約すると以上のようなものであるが、中年の生活実感が裏付けされており実に厳しい「人生八十年時代」と言わなければならぬ。本格的な高齢化社会に対処すべき現在、変化の事実と速さに対応しきれない個人、社会の不協和音のような感じもする。その年代に適応した充実感、使命感をもって仕事に励み、弾力性をもった生涯設計が大切でしょう。

会議所 だより



函館ドック離職者対策など協議

第117回全道商工会議所事務局長会議開く

第百十七回全道商工会議所専務理事・事務局長会議が、十月二十九日午後二時三十分から当市で開催され主催者の北海道商工会議所連合会から石林専務理事、遠山常務理事のほか、全道四十商工会議所のうち三七商工会議所から本所加藤専務理事をはじめ三十九人が参加し、次の事項についての報告、協議等が行われました。



開催地会議所を代表して歓迎のあいさつを述べる川田会頭＝五島軒本店で

なお、議事に先立ち、本所川田会頭から開催地会議所を代表し歓迎のあいさつを述べたあと、「テクノポリス函館」建設促進にあたり(財)テクノポリス函館技術振興協会の基金に対し、道内商工会議所から五百万円の寄付をいただいたことに対するお礼と、併わせて新たな局面をむかえた函館ドックの離職者対策に対する協力要請がされました。

〔報告事項〕

- 1、日商諸会議からの報告
- 1、昭和六十年中小企業政策に関する要望
- 2、昭和六十年小規模事業対策の拡充強化に関する要望
- 3、昭和六十年税制改正に関する要望
- 4、大小(公開・非公開)会社区分立法及び合併に関する問題点についての意見
- 二、第三十四回全道商工会議所大会並びに第十九回北海道東北商工会

議所連絡会議決議事項に関する中央陳情について

- 三、航空運賃に関する要望について
- 四、景気浮揚北海道総決起大会の開催について
- 五、(財)テクノポリス函館技術振興協会基金への寄付について
- 六、道商連上半期業務概況報告について

〔協議事項〕

- 一、(財)北海道防犯団体連合会(仮称)設立基金への協力について
- 二、函館ドック離職者対策への協力について
- 三、その他

〔説明事項〕

- 一、青函トンネルと北海道の未来
- 日本鉄道建設公団青函建設局長 北村 章殿

〔運営研究〕

- 一、今後の商工会議所のあり方について
- 日本商工会議所企画室 理事・室長 波田野雅弘殿
- 二、昭和五十八年度全道商工会議所小規模事業指導実施の状況について



祝 辞 を 述 べ る 川 田 会 頭

垣内さん(北海道日産化学(株))ら214人を表彰

第26回本所優良商工従業員表彰式

本所主催の第二十六回優良商工従業員表彰式が、十一月十九日午前十一時から拓銀ビル八階ホールで開催されました。

この制度は、本所会員事業所を対象に、長年同一事業所に勤続し、かつ勤務成績特に優良と認める方を表彰するもので、当日は主催者を代表

して川田会頭ほか、四副会頭が、また来賓として市長(代理)、市議会議長(代理)、渡島支庁長(代理)、ほかが出席しました。表彰を受けられたのは次の二百十四人です。

(二十年、十年は代表のみ記載)

〔勤続四十年以上〕

垣内松男(北海道日産化学(株))

〔勤続三十年以上〕

竹田松夫(ベンケイ綿(株))、奥村秀雄(株)ヤマキ小林)、竹内政利(株)函織)、籠嶋司(同)、坂口重信(北

海道石灰開発(株)、坂口貞雄(同)、

堀口繁義(山本鉄工(株))、竹村武雄

(株)カネマル)、松本隆(函館三菱

自動車販売(株))、坂本広勝(同)、

吉田昭二(銜横岡塗工所)、橋本末

次郎(函館信用金庫)、小向政志(澁

石川製麵所)、大谷嗣雄(銜ホテル

入川)、渡辺貞子(株)ホテルキク

ヤ)、吉田清(株)松野商店)、高橋

秀夫(株)丸大合商店)、見延博定

(株)丸又和田商店)、市田栄智子

(新函館都市ガス(株)) 以上十九人

〔勤続二十年以上〕

佐々木外喜男(第二物産(株))ほか五

十九人

〔勤続十年以上〕

三上幸子(株)竹内外語学院)ほか百

三十五人

秋の叙勲棟方 忠氏が受章

市文化賞は川田 寛氏受賞

文化の日、本所常議員棟方 忠氏

が勲五等双光旭日章を受章、会頭川

田 寛氏が昭和五十九年度函館市文

化賞を受賞、また、これとは別に去

る九月十二日、副会頭村瀬順一郎氏

が中小企業庁長官表彰を受けまし

た。三人のプロフィールは次の通り。

◆勲五等双光旭日章 棟方 忠氏

(東栄(株)代表取締役会長・協函館卸

センター理事長・本所常議員)

昭和三十三年から現在まで、中小企業の組織化と経営近代化のため協同組合運動に挺身、卸業界の指導的立場で活躍、中小企業等協同組合の振興、地域産業の振興、事業経営の発展と更にまた、地域社会教育に尽力しています。

◆函館市文化賞 川田 寛氏
(日本化学飼料(株)代表取締役社長・本所会頭)

〆足元にダイヤモンドがある。ムダなものはない〆をモットーに、イカのゴロ(内臓)など魚の未利用資源の有効利用研究により、液晶などバイオテクノロジー技術を駆使した優れた数々の製品を開発し、地域経済の振興に大きく貢献しています。

◆中小企業庁長官表彰 村瀬順一郎氏
(株)村瀬鉄工所代表取締役・道南鋳物工業協同組合理事長・北海道中小企業団体中央会本部理事・本所副会頭)

昭和二十四年同組合の設立から今にちまで、役員として地域鋳物業界の近代化、組合の経営基盤の強化とその振興発展、全道中小企業の振興など献身的に尽力しています。

活性化に向け初の工業展

入場者延べ一万二千人超える

第一回函館機械金属造船工業展（主催 函館機械金属造船工業協同組合連合会 村瀬順一郎会長）が、十月二十日（土）、二十一日（日）の両日、西桔梗町の流通ホール（函館卸センター内）に六十一社、五団体が参加し開催されました。

この工業展は、開催目的を「業界の活性化」とし、個々の企業と得意先、仕入先、同業者、異業種の人や



川田会頭（右から2人目）らによるテープカット

業界と地域、行政、学校などさまざまなつながりを強化することによって、より力が増幅され地域に活力をもたらすとの考えから企画されたものですが、具体的には各企業の特徴、技術、能力等を広く紹介し、理解を深めてもらうことにより新たなユーザーの確保と販路の拡大をはかり、また、各企業が技術交流を行い、能力を補完しあうことで幅広い受注

体制をとり、業界全体の新技術導入の引き金とするところにおいています。

工業展は、初日、柴田市長、菅鉄夫同実行委員長がくす玉を割り、川田会頭他がテープカットを行って幕をあげましたが、両日ともあいにくの雨にもかかわらず、同実行委員会が予想した三千人を大きく上回る一万二千四百四十人が入場し、大成功裡にその幕を閉じました。

長びく不況の中にあつて、同連合会の前向きな姿勢は、今後の当市の経済界に好影響を与えるものと期待されます。

第112回珠算検定試験終る

第百十二回珠算能力検定試験（日本商工会議所主催）が十月二十八日（日）に全国一斉に実施されましたが、函館では市立的中学校を会場に、段位十八人のほか、一級百二十四人を含む二千五十五人が受験しました。

- 初段 鶴飼 満（本通中学校）
 〃 阿部和広（函館商業高校）
 〃 由利征子（桐花中学校）
- 〇暗算段位
 初段 村上純一（本通中学校）
 〇一級合格者
 長部直美（的場中学校）
 瓜谷友香（中央小学校）
 村上純一（本通中学校）
 阿部和広（函館商業高校）

とおりです。
 ◎珠算段位
 二段 柳川淳子（北海道相互銀行）

いまこそ企業のご協力を！

—— 大口の法人募金をお願いします ——

共同募金運動は、今年で38年目を迎えました。この間皆さまから寄せられた浄財は社会福祉のために役立たせていただきましたが、長びく不況の中にあつて極度の緊縮を余儀なくされる財政と際限なくふくらむ福祉ニーズのはざまにあり、わが国の福祉は正しく苦難の時期を迎えています。

したがって、法人の皆さまにおかれましては本活動の趣旨をご理解いただき、特段のご協力をお願い申し上げます。

函館市共同募金会

会 長 田中誠一郎・法人募金担当副会長 西野吉一
 函館市末広町4番19号 電話 23-2226番

21世紀産業の在り方に対応

名古屋など先進地域を視察

函館小規模企業
振興協議会

函館商工会議所が行う経営改善普及事業推進のため、地域小規模企業者とのパイ役として委嘱している小規模企業振興委員で組織している函館小規模企業振興協議会（本誌四十五号で詳報）では、「二十一世紀の産業の在り方について、それぞれの業界がどのように対応していかなければならないか」ということをテーマに、テクノポリス函館指定を契機として、市内の先端技術産業の視察や研修などの活動をしてまいりましたが、その一環として、十月二十五日から二十七日までの日程で、先進地である名古屋、浜松地域への視察研修会を実施しました。同協議会の今年度の総仕上げともいえるべき視察研修会の主な内容は次のとおりです。

◎北海道名古屋事務所での懇談会

同事務所では今村所長、福眞主査の出席を得、北海道への企業誘致の基盤づくりと問題点、同事務所の

概要等の説明を受けた後、函館の観光問題、朝市のPR等の質疑応答が行われましたが、特に函館の工業立地条件の中で、気象ひとつとつても、両地域の雪に対する意識のずれ、感覚の違い、一例をとるなら、昨年十二月に名古屋地方に積雪が十センチもあったが、その時は飛行場が一日中閉鎖され、高速道路は麻痺し、自動車事故が多発するという事態に陥ってしまった。函館では僅か十センチというものが、名古屋ではこのような事態となるあたりのギャップの克服などが今後の課題として指摘されました。

◎名古屋・浜松両商工会議所での振興委員との懇談会

名古屋、浜松両会議所では、相互の振興委員の交流懇談会が実施され、振興委員活動状況、街づくり、商店街活動、テクノポリス指定と企業誘致等について、活発な意見交換

がなされました。都市規模の異なる名古屋ですが、各種イベントを積極的に推進し、商店街活動を活性化した大須商店街の青年部と、彫刻の居並ぶ買物ストリートを持つ浄心地区商店街の活動状況は、当市としても参考になる点が多々ありました。

また、浜松では、駅前地区の人口のドーナツ化現象による、売上高の減少問題、工業の集積がたかく出荷量が大量であるにも拘わらず、周辺に港や空港がなく、輸送上の時間的ロスが大きく、且下関係機関にその対応を要請しているが容易にことがすすまない悩みがあるなどの、地域事情についても具体的説明をうけました。

◎先端産業視察

先端技術産業の視察は、トヨタ自動車工業㈱と、浜松ホトニクス㈱で両社とも世界に冠たる企業であるだけに、その優秀な技術、洗練された従業員の作業状況を、直接見聞することが出来たことは、今後の地場産業の振興を図るうえで数多くの示唆を得、所期の目的を十分達成することが出来ました。

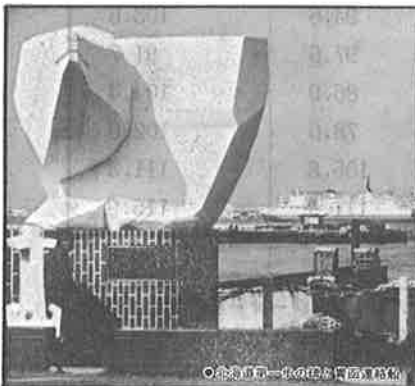
企業は人、人は企業の“はじまり”

企業にとって、多角化は、時代の求めるものであり、常に、経営陣と、スタッフ、そしてユーザーとの良質な緊張関係が安定した発展を約束し、企業が地域社会に貢献できる最大の「表現」と考えます。

前側石油札幌 函館オートタイヤ自動車機器㈱ 前側電子計算センター
前側石油釧路 マエカワオート㈱ 前側エプロン商事
前側石油江差 前側エム・ケイ広野運輸㈱
前側石油松前
前側石油ガス配送センター

前側石油株式会社

代表取締役社長 前側内匠
本社 函館市大手町3-1 TEL(0138)27-2211代



◎前側石油一社のビル（函館市）

の手持ち工事は好天に恵まれ例年にない早目の仕上がりを見ていた模様であり、一部では今後の空きを懸念。

(農 業)

牧草やビート等一部畑作物の作柄は若干不良ながら、収穫期をほぼ終えた水稻は53年以來の豊作となっており、豆類の収穫量も前年を上回るなど、管内農産物の作柄は総じて良好。

(漁 業)

近海マイカ漁は、日本海側の不漁に加え、好漁を続けていた太平洋側もシケ等によりここへきて水揚げが幾分鈍っている。一方、秋サケ漁は好調に推移しているほか、10月解禁のスケトウ漁も出足順調で、コンブ漁も養殖ものを中心に高水準の前年並みとなっている模様。

(小売商況)

市内大型小売店(10か店)の9月中売り上げは、家具類等家庭用品が前月のバーゲンセールで反動減もあって前年を下回ったものの、月央以降の涼気到来から秋冬物衣料や食料品が好売れ行きを示したほか、身の回り品や雑貨も堅調であったため、全体では前年比2.9%増と、9か月連続前年水準を上回った。また、10月入り後も引き続き秋冬物衣料や食料品を中心に堅調に推移している模様。

一方、耐久消費材では、乗用車販売がこのとこ

ろ不冴え(新車登録台数9月中前年比△15.5%)ながら、家電製品関係は洗濯機等白もの商品が好調な売れ行きを続けているほか、出足が鈍かった暖房機器も9月後半以降順調に動き始めている。

3. 金融事情(9月中)

○管内金融機関の実質預金は、預貸併進による期末預金嵩上げの動きや、月末休日に伴う期末回収資金の高どまりもあって、一般預金中心に月中294億円増と前年(228億円増)を3割方上回る増加となった。

一方、貸し出しは、卸・小売、建設の期末決済資金、水産加工の原魚買付資金等季節需資が増加、これら需資に対し金融機関も弾力的に貸し進んだため、月中202億円増と増加幅は前年(182億円増)比1割方拡大。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、低利な短期決済資金の増加等を映じ月中△0.038%と前月(△0.010%)比低下幅が幾分拡大。

○銀行券は、月中19億円の還収超となったが、還収超幅は、好天に恵まれレジャー資金等の現金需要が高んだほか、月末休日に伴い決済資金等の還流が一部翌月初へズレ込んだため、前年(25億円)比3割方縮小。

○財政収支は、運用部貸付金の回収、保険の受入等を中心に月中52億円の受超(前年同71億円)。

以上

統 計 資 料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和59年9月

品 目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年比(%)
衣 料 品	2,618,826	123.6	103.6
身 回 品	491,717	100.7	104.8
雑 貨	621,824	94.6	103.6
家 庭 用 品	730,655	97.6	91.7
食 料 品	1,556,310	86.9	104.4
食 堂 ・ 喫 茶	180,677	78.6	102.0
サ ー ビ ス	63,092	105.8	111.3
そ の 他	261,218	111.9	115.9
総 額	6,524,319	103.1	102.9

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパズプラザ湯の川店の各店をいう。

9月

昭和59年10月30日発表

金融経済概況

日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、業種間に区々の動きが見られるものの総体的にはゆるやかな上向き歩調を辿っている。

すなわち、造船が低操業を余儀なくされているほか、漁網、珍珠加工、合板機械でも生産を抑制しているが、輸内需の好調持続を背景とした電子部品、乳加工品、製缶機械、原魚が豊漁の魚油・飼料等がフル操業体制にあるのをはじめ、豊作となった農産物の荷動き活発化を映じ段ボールが高操業を持続、また盛業期の生コン、セメントも操業度を引き上げている。

個人消費面では、乗用車販売は伸び悩んでいるが、小売りでは9月央以降の涼気到来から秋冬物衣料 食料品などが好売れ行きを示しているほか、家電販売もますますの水準を持続。この間、農産物の収穫、出荷は水稻、馬鈴薯を中心に好調裡に推移している。

金融面では、卸・小売、建設の期末決済資金、水産加工の原魚買付資金等季節需費が幾分盛り上がったうえ、金融機関の弾力的な応需姿勢もあって、9月の貸出増加幅は前年実績を上回った。管内銀行の9月中の貸出約定平均金利は低利な短期資金の増加等を映じて前月比低下幅が幾分拡大。

2. 主要業種別動向

(造船)

陸上工事部門では、9月も前月に続き橋梁工事の受注をみたものの、新造船の新規受注は皆無、また修繕船も官庁船を一部受注した程度と低調であるため、引き続き低操業を余儀なくされている。

(電子部品)

主力の半導体メモリー型に加え、コンピュータ用ロジックに対する需要も依然旺盛で、3交代フル操業を継続。

(珍珠加工)

ムラサキイカの水揚げ不振を映じ原魚がかなりの高値となっているものの、末端実需の盛り上がり不足から、消費地間屋筋との製品値上げ交渉は難航、採算割れを余儀なくされているため、生産も抑制。

(化学)

魚油・飼料は、大豆・とうもろこし等植物性飼料との競合激化から製品市況が低迷しているものの、これまでのいわしの豊漁に加え、漁期入りしたスケトウの水揚げも順調となっているところから、引き続きフル生産体制を維持。肥料は、需要端境期を利用した工場の定期修理実施等から操業度は幾分低下。

(機械)

合板機械は、国内合板メーカーの業況不振、主力輸出先インドネシアの設備投資一巡等を映じ小ロットの受注がみられる程度で受注残もかなり落ち込んできており、一部見込み生産をして定時操業を維持。一方、製缶機械は、清涼飲料水等缶詰メーカーからの引き合いが強くなり受注残も増加傾向にあるため、時間外操業の拡大により生産水準を一段と引き上げ。

(段ボール)

水産関係向けの荷動きは依然鈍いものの、豊作となった農産物の荷動き活発化等を映じ、主力の青果向け出荷が好調なため高操業を続行。

(乳加工品)

製菓用原料の練乳、粉乳の荷動きが需給逼迫を映じ引き続き活発であるほか、市乳の売れ行きも堅調とあって、フル操業を続けている。

(漁網)

日・朝漁業協定の2年振りの復活等一部好材料がみられるものの、日・ソ漁業協力協定の合意難航、北転船減船問題に対する米国の態度硬化等の不確定要因を抱えているため、流し網、底引網の需要は低調で、減産姿勢を強めている。

(その他製造業)

合板は、大手メーカーの自主操短の効果浸透等を映じ不採算幅が幾分縮小の方向にあることから、小幅ながら減産緩和。セメントは、管内公共事業の工事最盛期に加え、本州方面向けや米国向けの引き合い増加から前年を上回る荷動きをみており、生コンの出荷も、建築向けが低迷しているものの、青函トンネル取付線等公共事業向けが順調に推移。

(建設)

管内主要官公庁の公共事業発注率は上期中86.4%と前年(85.5%)を若干上回ったが、建設業者

少」企業25.6%でD I △8.4を示している。

次に来期の売り上げ見通しを業種別にみると、建設業では、手持ち工事量の不足も懸念され今期比D I △25.9、前年同期比D I △40.7といずれもD I が大幅にマイナスを示しており、厳しい予想となっている。

製造業では、今期比D I 18.3、前年同期比D I △11.5を示しており、今期比では増加を予想している。

業種でみると、水産加工業、飲食料品業が今期比で業績好転を見込んでいるが、他の業種は、横ばいまたは減少を予想しており、特に木製品・家具業、造船業は今期比、前年同期比ともに大幅に減少を予想している。

卸売業では、今期比D I 9.6、前年同期比D I 5.8といずれもD I が若干プラスを示しており、やや明るい見通しとなっている。

業種でみると、燃料業、金属・一般機械器具業が前年同期比でD I がマイナスを示している以外は、横ばいまたは増加を予想しており、特に医薬品・化粧品業は今期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し、業績好転を見込んでいる。

小売業では、今期比D I 9.2、前年同期比D I 1.6と、いずれもD I が若干プラスを示しており、やや明るい見通しとなっている。

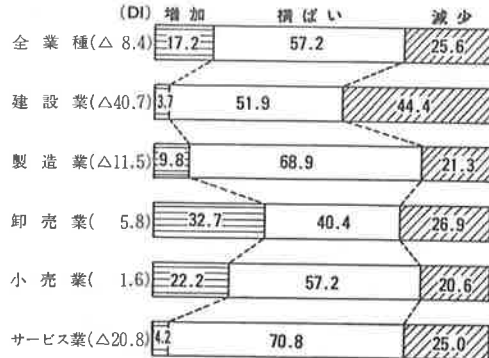
業種でみると、食料品業が前年同期比でD I がマイナスを示している以外はすべて、横ばいまたは増加を予想しており、特に自動車販売業は、今期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し業績好転を見込んでいる。

サービス業では、今期比D I △37.0、前年

同期比D I △20.8といずれも大幅な減少を予想している。

業種でみると、クリーニング・理美容業が今期比でD I がプラスを示しやや明るい見通しとなっているが、逆に旅館業、自動車整備業は今期比、前年同期比ともにD I が大幅にマイナスを示しており、業績悪化を予想している。

図-6 来期の売り上げ見通し (対前年同期比)



3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とする企業5.7%に対し、「悪化」とする企業13.9%でD I △8.2とD I がマイナスを示しているが、「変わらない」とする企業が80.4%もあり、ほぼ今期並みに推移される見通しである。

これを業種別にみると、建設業D I △18.5、製造業△1.7、卸売業D I △6.0、小売業D I △6.1、サービス業D I △22.2となっており、特にサービス業、建設業が悪化を予想している。

北海道電力株式会社認定
衛星放送受信相談の店
各種電気工事設計施工

電気企画工業

代表 阿部正一

函館市大川町14-11 TEL 42-6031

このように純利益は、売り上げの伸び悩みが影響して、採算の悪化傾向が続いている。

業種別にみると、各業種とも悪化傾向にあるなかで、製造業の飲食料品業、金属・一般機械器具業、卸売業の織物・衣服・身の回り品業、食料品業、建築材料業、小売業の各種商品販売業が採算面で若干明るさをみせている。

4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業9.0%に対し、「悪化」した企業12.8%でD I △3.8と若干マイナスを示しているが、「変わらない」とする企業が78.2%もあり、ほぼ前期並みに推移している。

業種別にみても、すべての業種で70%以上の企業が「変わらない」としている。

図-4 今期の資金繰り (対前期比)



5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、やはり「売上げ・受注の不振」をあげる企業が多く、全業種で40.9%を占めている。

この「売上げ・受注の不振」を業種別にみると、建設業60.6%、製造業35.9%、卸売業28.6%、小売業48.3%、サービス業36.6%となっている。

他に経営上の問題点をみると、建設業では「工事価格の値下り」・「同業者間の競合」がそれぞれ14.3%、製造業では「原材料高」22.4%、「製品安」14.9%、卸売業では「純利益の減少」20.4%、「販売価格の値下り」12.2%、小売業では「客足の減少」14.1%、サービス業では「客足の減少」22.7%、「同業者の競合」18.2%等となっている。

来期 (10月～12月) の見通し

1. 業況について

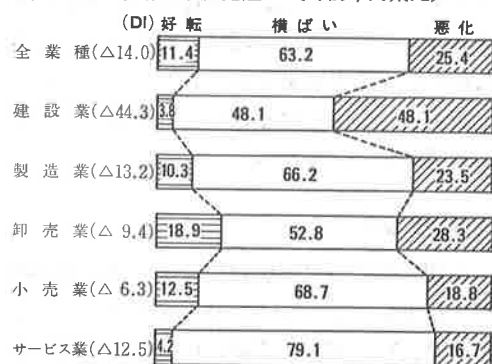
函館地域企業の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」するとみる企業17.6%に対し、「横ばい」企業59.4%、「悪化」するとみる企業23.0%でD I △5.4、また前年同期比でみると、「好転」企業11.4%に対し、「悪化」企業25.4%でD I △14.0を示し、悪化基調で推移される見通しである。

業種別にみると、今期比では建設業D I △49.9、製造業D I 8.9、卸売業D I 2.0、小売業D I 3.1、サービス業D I △29.6と、建設業とサービス業は悪化を予想しているが、他の業種はD I が若干プラスを示しており、やや明るい見通しとなっている。

また、前年同期比でみると、すべての業種でD I がマイナスを示しており、特に建設業(D I △44.3)が悪化を予想している。

このように来期の業況は、年末の資金需要発生期をひかえ、恒常的な内需の不振に加えて、公共事業の前倒し発注や好天に恵まれて工事が順調に進んだことによる今後の工事不足も懸念され、停滞気味に推移する見通しとなっている。

図-5 来期の業況見通し (対前年同期比)



2. 売上額について

来期の売り上げ見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」するとみる企業23.4%に対し、「横ばい」企業55.4%、「減少」するとみる企業21.2%でD I が2.2と若干プラスを示しており、前年同期比では「増加」企業17.2%に対し、「横ばい」企業57.2%、「減

また、今期の売上額を前年同期比でみると、全業種では「増加」企業24.7%に対し、「横ばい」企業45.4%、「減少」企業29.9%でD I △ 5.2 と若干マイナスを示している。次に売上額を業種別にみると

【建設業】

今期の工事完成額は、前期比でD I △ 25.0 前年同期比でD I △ 33.2 と、工事最盛期を迎えたにもかかわらず、依然として業績悪化が続いており、業種別にみてもすべての業種でD I がマイナスを示している。

このように建設業界は、公共事業の前倒し執行による効果が浸透せず、住宅投資等の民需の回復の兆しもなく、加えて過当競争、請負単価の低下の影響を受け業績の悪化が続いている。

【製造業】

今期の生産額は、前期比D I 13.4、前年同期比D I 1.5 といずれもD I がプラスを示しており、比較的業績が好転している。

業種でみると、水産加工業、飲食品業、金属・一般機械器具業では前期比、前年同期比ともにD I がプラスを示し業績が好転しており、窯業・土石製品業も前期比ではD I がプラスを示している。しかし逆に、木製品・家具業、造船業では前期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示しており、特に造船業は新造船の受注もなく、修繕船も低調で大幅に業績が悪化している。

【卸売業】

今期の売上額は、前期比D I 33.9、前年同期比D I 3.7 といずれもD I がプラスを示しており、特に前期比では比較的業績が好転している。

業種でみると、燃料業が前期比、前年同期比ともにD I がマイナスを示し業績が悪化しており、建築材料業も前年同期比ではD I がマイナスとなっている。しかし他の業種は、全般的に比較的業績好転をみせており、特に食料品業が好転している。

【小売業】

今期の売上額は、前期比でD I △ 9.1、前年同期比でD I △ 9.6 といずれもD I がマイナスを示している。

業種でみると、前期比では食料品業でD I が若干プラスを示しやや好転をみせたが、他の業種は横ばいまたは減収傾向となっており、特に自動車販売業が落ち込みをみせた。

また、前年同期比でみると、各種商品販売業、衣服・身の回り品販売業は、好天に恵まれD I が若干プラスを示しており、比較的業績が好転しているが、他の業種は悪化傾向をみせており、特に自動車販売業が悪化している。

【サービス業】

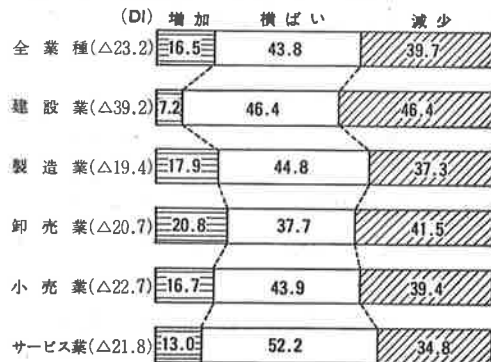
今期の売上額は、前期比D I 7.4、前年同期比でD I 0.0 と、前期比ではD I がプラスしており、やや回復の兆しをみせた。

業種でみると、自動車整備業は前期比、前年同期比ともにD I が大幅にマイナスを示し業績が悪化しているが他の業種は横ばいまたは好転をみせており、特に旅館業は、本格的な夏場の観光シーズンが好天に恵まれ、前期比では大きく業績が好転している。

3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べて「増加」している企業17.6%に対し、「横ばい」企業44.6%、「減少」している企業37.8%でD I △ 20.2を示しており、前年同期比でも「減少」企業39.7%が「増加」企業16.5%を上回っており、D I △ 23.2となっている。

図-3 今期の純利益 (対前年同期比)



経済の窓

景気動向調査

(昭和59年度 第2・四半期)

昭和59年度第2・四半期(昭和59年7月～9月)の函館における景気動向調査結果がまとまりましたので概況をお知らせします。

なお、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	395社	285社	72.2%
建設業	50	33	66.0
製造業	100	77	77.0
卸売業	80	63	78.8
小売業	120	80	66.7
サービス業	45	32	71.1

(注) 本調査結果の中でD Iとある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目について増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差し引いた値を示しています。

今期(7月～9月)の実績

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種でみると、前期に比べ「好転」している企業26.4%に対し、「横ばい」企業45.9%、「悪化」している企業27.7%でD Iが△1.3とほぼ前期並みに推移した。

これを業種別にみると、卸売業D I 15.4、サービス業D I 11.1と比較的好転しており、製造業もD Iが2.9と若干プラスを示しているが、他は建設業D I △32.2、小売業D I △10.6とそれぞれD Iがマイナスを示し、悪化基調で推移した。

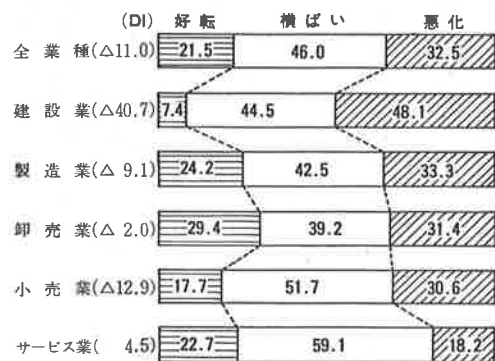
また、今期の業況を前年同期比でみると、全業種では「好転」企業21.5%に対し、「横

ばい」企業46.0%、「悪化」企業32.5%でD Iが△11.0を示し、前年よりも悪化している。

業種別にみると、サービス業(D I 4.5)が若干好転しているが、他の業種はすべてD Iがマイナスを示しており、特に建設業(D I △40.7)が悪化基調で推移した。

このように今期の業況は、例年のない好天続きで個人消費にやや明るさがみられ、緩やかな回復の兆しがみられるものの、公共事業の前倒し執行による効果も期待したほど浸透せず、加えて住宅建設も依然として振るわず、全体的には企業にとっての景気回復の実感はまだ薄いようだ。

図一 今期の業況(対前年同期比)



2. 売上額について

今期の売上額の状況を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業32.8%に対し、「横ばい」企業41.1%、「減少」している企業26.1%でD I 6.7と若干プラスを示しており、業種間にバラつきがみられるが、全体的には夏場の需要期入りでやや回復の兆しをみせている。

図二 今期の売上額(対前年同期比)

